

2024 年度

三井のリハウス東京都 U-12 サッカーリーグ 第 4 ブロック 要項

令和 6 年 3 月 1 6 日版

1. リーグ戦期間

前期 令和 6 年 4 月 7 日（日）～ 6 月 2 3 日（日）

※ 6 月末に後期リーグに向けた代表者会議の予定（日程未定）

後期 令和 5 年 9 月 1 日（日）～ 1 2 月 2 2 日（日）

※ 7・8 月は熱中症対策として都連盟主管の活動・試合は休止です

◇全日本少年サッカー大会 東京都第 4 ブロック予選は前期リーグの結果を反映します。

2. 参加資格

「第 4 ブロック公式戦に関わる共通事項」参照

【補足】

(1) 登録選手は 6 年生を主体とし、5 年生、4 年生を登録する場合には体格差や体力差など安全への配慮、検討を十分に行った上で登録し、チームの責任で出場させてください。

※ 3 年生以下の登録・参加は安全上の観点から不可です。（過年齢児童の出場は不可）

(2) 出場する選手については、年度当初に指定の「登録用紙兼エントリー表」において、エントリー申請し、ブロックからの承認を得てください。

※内容に変更があった際にはその都度再承認を受けるようお願いします。

○ブロックの承認印のある用紙をコピーして試合ごとに会場本部に提出してください。

※ブロックの承認印のないエントリー用紙は無効です。

○登録用紙兼メンバー表は「氏名」「学年」「登録番号」について必ず印字をお願いします。

背番号については、印字が望ましいですが、チーム事情により手書きも可とします。

但し、同じ日の 1 試合目と 2 試合目で番号を書き換えることは原則不可です。

○指導者欄も原則印字でお願いします。

チーム事情により当日臨時で参加するコーチは手書き可です。

なお、急な代役の指導者やメディカルスタッフを記入するための空欄も残してください。

(3) 移籍について

○移籍は、随時可能。

ただし、都及びブロックの承認が下りるまでは新チームでの出場はできません。

(要注意) 6 月 2 3 日(日)までに移籍手続きが完了し都の承認が下りていなければ、全日本少年大会のブロック予選には出場できません。

○複数エントリーチームは前期終了後、後期リーグの開始までは同一団体の選手の入替えができます。その際には、必ずエントリー用紙の再承認を受けてください。

3. ブロックリーグの進め方

(1) グループ分け

1 グループは8チーム以上で編成します。(7チーム以下のグループは不可)

◇2024年度前期について(参加※※チーム)

前年度のリーグ戦の成績を考慮した5グループ編成(別紙参照)です。

2023年度後期結果と参加チームの状況により、

2023年度後期の各グループ上位2チームは、1つ上のグループに昇格

チーム数の関係で、その他のチームは同グループに残留(降格はなし)とします。

後期 前期リーグの成績により B～Eグループの上位2チームは昇格

A～Dグループの下位2チームは降格

☆後期終了後の2025年度に向けて昇降格は、全体のチーム数、グループ数の関係で必ずしも上位2チーム昇格、下位2チーム降格とはならない場合もあることをご承知おきください。

その場合には、総合順位と各グループのチーム数によりグループ編成します。

(2) 順位の決定(全試合が行えた場合)

◇勝ち点の合計

勝ち→勝ち点3 引き分け→勝ち点1 負け→勝ち点0

◇勝ち点の合計が同じ場合 以下の項目の順で順位を決めます

①得失点差 ②総得点 ③当該チーム同士の対戦結果 ④抽選

◇やむを得ない事情により期間内(前期は6月25日、後期は12月24日を最終日)に試合が終わらず、未消化試合が生じた場合には、以下の方法により順位決定します。

①勝ち点率(勝ち点÷試合数)

②勝ち点率が同じ場合 得点率(総得点÷総失点)

③得点率が同じ場合 直接対決の結果(ない場合には4へ)

④抽選

※あまりに試合数が少ない、もしくはチーム差がある場合には、要相談。

(3) 試合数の制限

○選手のファーストの考えから週あたりの試合数には制限があります。

1日もしくは連続する2日間(土、日)で**1チーム最大3試合**とします。

◇15分ハーフのため、以前より制限試合数を緩和しています。

※連休などの際の扱いは、土日、もしくは日月連続で行う場合には上記の通り。

中日をオフにするならば土曜日2試合、日曜日なし、月曜日2試合も可です。

→ただし、リーグ戦の趣旨は試合の消化ではないので**短期間で多くの試合を組むことは望ましくはありません。**

(4) 開催条件

3チーム、もしくは4チームでの開催を基本とします。(グループが異なっても可)

2チームのみでの開催の場合は、審判などは両チームの話し合いで相互審判も可とします。

4. 競技規則

「第4ブロック公式戦に関わる共通事項」参照

【補足】

①試合は、前半15分、後半15分、ハーフタイム5分で行います

※熱中症対策を取る場合は異なります。

②退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場できません。

警告累積3回は、次の試合に出場できません。

※前期リーグの累積警告は、後期リーグに持ち越されます。

累積はU-12リーグ後期終了時に消滅となります

5. グループリーグ運営方法

「第4ブロック公式戦に関わる共通事項」参照

【補足】

①幹事チーム及び会計チームについて

○各グループ内で幹事チームを選出し、全チームで協力をして設定期間の中で日程、会場を確保・調整して運営していただきます。

○会場費(石灰代他)は、グループリーグごとに集金し、その中で会計事務を行います。

過不足が生じたときは、同一グループ内で精算する。(1試合を400円程度とする)

各チームは、前期2000円、後期2000円をリーグ戦運営費とし、各リーグ会計担当がこの集金にあたる。会計担当は、幹事チーム以外から選ぶ。

料金のかかる会場を使用した場合は、その支出について、グループ内で処理してください。

会計担当は、リーグ終了後「会計報告」を各チームに明示してください。

②会場提供できるチームと困難なチームとで、当番や運営担当を仕事分担してください。

※会場準備、運営本部担当を会場チームだけで担うことがないように工夫してください。

③日程の調整に関して

「学校行事」以外の事情は、原則認められません。

※「学校行事に関わり、チームとして出場できない」ことを許可できるのは、エントリー登録選手のうち、該当学校行事に関わらない選手が8人未満の時だけです。

「許可」可能か審議するために、該当チームは「幹事チーム」へ各エントリー選手の「小学校名」を明示していただく場合があります。

④「棄権試合」について

棄権試合が生じた場合、不戦勝チームには、「勝ち点3、得点3」が与えられます。

不戦敗チームは、「勝ち点マイナス1、得点0」とします。

⑤試合終了後は、各会場運営責任者から「幹事チーム」へ試合結果をすみやかに「東京都U-12ブロックリーグ記録用紙」及び「審判報告書」によって報告してください。
※各会場から「幹事チーム」へどのように報告するかを事前にリーグ内で決めておいてください。

⑥試合があった週明けに幹事チームは、第4ブロックリーグ戦担当 森 宛て、すみやかにメールに各グループの結果を入力した星取表を添付して報告する。

(報告先は、4block.u12@gmail.com)

⑦各試合の記録用紙、審判報告書の原本は、リーグ戦が終わるまで各幹事チームが保存し、年2回の代表者会議の際に提出をしてください。

⑧警告・退場の報告について

「退場」「警告」について幹事チームは掌握し、次試合の該当チーム及び次節の会場担当に連絡してください。

⑨試合会場は、ブロック所属チームが責任をもって管理・運営できる会場であれば、4ブロックの地域内でなくとも可とします。

⑩猛暑、雨天、落雷等により、再試合を設定する場合も前後期の期間内で調整してください。

(調整が難しい場合は要相談)

【その他】

- ・試合毎のインターバルに余裕をもたせ、クーリングブレイクや飲水タイムを積極的に行うなど熱中症対策を十分に行い、選手の安全第一での運営をお願いします。
- ・落雷時の試合の中断の判断を躊躇わず、避難場所などについても予め想定をお願いします。
- ・雨天や落雷により、中断・中止の場合は、各チームで別日程を設け、その日程については、リーグ幹事チームへ報告する。試合が中断し中止となった場合は、再試合とします。

※試合前半で中断後中止となった場合は、試合開始時から再試合、
試合後半で中止になった場合は、中止になった時点から再試合とします。

補足資料 会場運営などについて

【エントリー表の取扱い】

- ①試合開始30分前までに、前半の先発メンバーに印をつけたものを会場本部に各チーム2部提出してください。
同時にベンチ入り指導者の指導者証も提出し確認をします。
- ②会場本部にて、選手登録証とチェック。チェック後に、1部は補助審、もう1部は相手チームへ渡してください。
- ③試合終了後、補助審・各チームから本部へ忘れずに返却してもらってください。
この時に、審判、各チーム指導者から結果報告書にサインをもらうことも忘れずに。
- ④1枚は、結果報告書・審判報告書とともに幹事チームに送付し、もう1枚は会場本部が保管。
- ⑤次の試合の選手の集合及び用具チェックは試合開始10分前、場所は原則本部の脇とします。